

## 小型門松作製マニュアル

### 【門松とは】

- 一年の厄を払い、おめでたい一年をお迎えするために、日本古来より受け継がれてきたお正月飾りです。  
(門松の始まりは平安時代からといわれています。)
- 家の内外に立てる生木のことで、門口に松を立てる例が多いので門松と総称されています。
- 地方によって様々な門松がありますが、それぞれに意味があります。
- 材料は松竹梅が基本となっています。  
松:長寿であることから、長寿、繁栄の象徴  
竹:とても生長が早く2・3日で身の丈程になり、生命力を象徴しています。  
梅:寒さに強く、最も早く花が咲く開花樹です。  
南天:ナンテン(難転)「難を転ずる」に通じる縁起物  
葉牡丹:幾重にも重なり合う葉が、「吉事を重なる」とされています。
- 門松の竹の先端は斜めに切る「そぎ」と真横に切る「寸胴」があります。
- 関東風では3本の竹の足元に短く切った松を活け込み、それを菰(こも)で包むという形が基本です。
- 門松は1月4~15日頃まで立てておき、供物を供えたりしたのち、注連飾り(しめかざり)などとともに小正月のドンドの火で焼きます。
- 多くの方が日本文化の美しさを知ってもらうきっかけになれば幸いです。
- 皆様も新しい一年が素晴らしいものになりますように、心よりお祈り申し上げます。



### 【材料】

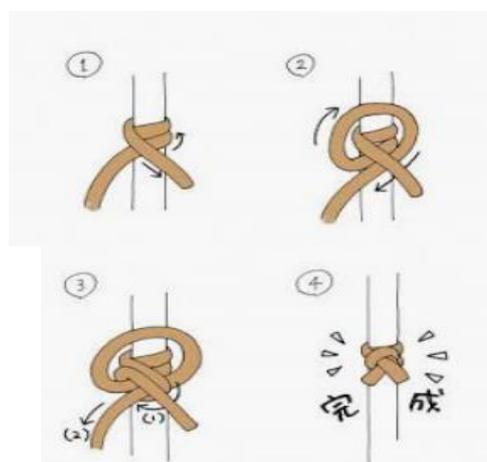
使う材料は次の通りです。

<材料は余分が無いので数を守って下さい>

竹	6本	
松	4本	
梅	2本	
南天	2本	
幹巻きテープ	2枚	(長さ: 1. 8m)
縄	6本	(長さ: 1. 8m)

※ 縄の太さは2.5分

### <男結び>

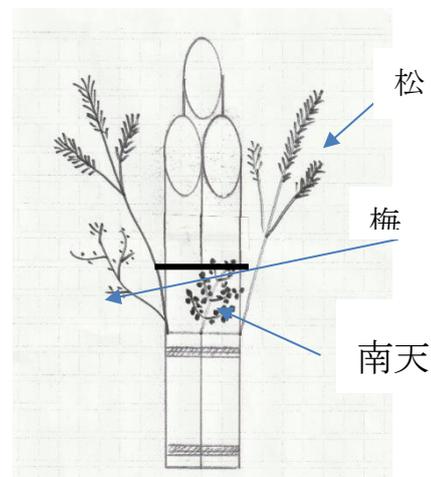
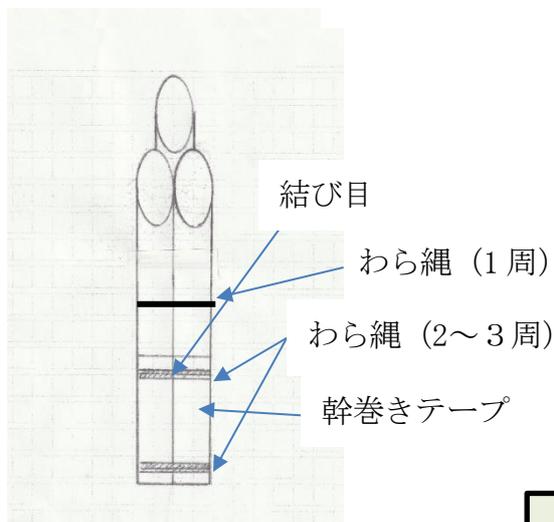
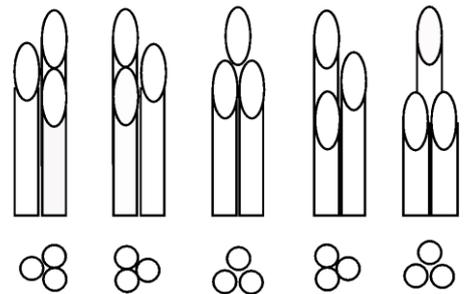


## 【門松の作り方】

- ① 6本の竹を選ぶ。
- ② 雑巾で竹をきれいにする。
- ③ 中心になる2本を選び、竹の組合せを考える。  
※ 竹は、両面を斜め切りしてあるが、綺麗な面と切り口がザラザラとなっている面があるので、綺麗な面を上にする

<竹の並べ方：決まりはありません、いろいろと工夫してみよう。>

- ④ 中心になる2本を決められた長さに切る。  
※ 自治体のゴミ処理に対応した長さとする。
- ⑤ 残りの4本の竹の長さを決めて切る。
- ⑥ 竹を立てて、輪ゴムで仮止めする。(上下二段)
- ⑦ 中心で1周の縄を巻き固定する。
- ⑧ 幹巻きテープを巻き付ける。  
※ ガムテープを使うと巻きやすい。
- ⑨ 幹巻きテープの上から縄を2段にまく。  
※ 2~3周、結び方：男結び、本結び など
- ⑩ 松、梅、南天を飾り付ける。 水引や折り鶴などの飾り物を好みに応じて飾り付ける。



小型門松の例(いろいろな飾り方がありますが、工夫してみてください。)



### 【お願い】

1. 最初の長い竹2本は、出来るだけお子さんに切らせ、ノコギリを使う体験をさせてください。
2. 使い終わったノコギリはケースに収め、ハサミは閉じて、ケガを予防しましょう。
3. 作品を前にして、集合写真を撮ります、出来栄の感想もお聞かせください。
4. 使った道具の片づけのお手伝いをお願いします。
5. 最後に会場の跡片付けや掃除に協力をお願いします。